

発信年月日：令和3年2月9日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1142
経済観光部 農林水産課	坂野 茂	林業振興班 永尾 和彦		FAX 0837-22-8458
件名	「あそびのむし」贈呈式@長門おもちゃ美術館			

日本財団と東京おもちゃ美術館が共同で開発した難病の子どもと家族と一緒に遊べるおもちゃセット「あそびのむし」を2月末日の世界希少・難治性疾患の日に向けて全国100ヶ所の施設と病院へ配布しており、今回、長門おもちゃ美術館にも配布されたことから、贈呈式を開催しますので当日の取材方よろしくお願ひします。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策として贈呈式はオンラインを交えての開催となります。

記

- 開催日程 令和3年2月14日(日) 11:20~12:20
- 開催場所 長門おもちゃ美術館(長門市仙崎4297-1)
- 内容 11:20 メディア向け概要説明(オンライン)
11:50 贈呈式・記念写真撮影等
- 共催 日本財団・東京おもちゃ美術館・長門おもちゃ美術館
- 問合せ先 東京おもちゃ美術館 担当:石井 090-9846-1679
長門おもちゃ美術館内 担当:山本・村田 0837-27-0337

2021年2月2日

「あそびのむし」贈呈式@長門おもちゃ美術館（山口県長門市）

プログラム

日時 2021年2月14日（日）11:50～12:20

場所 長門おもちゃ美術館（ご担当 村田 様）

電話番号/0837-27-0337

〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1 センザキッチン内

東京おもちゃ美術館 石井今日子、岡田哲也

長門おもちゃ美術館 館長 山本幸範 様、他スタッフの皆様

リアル参加者 きかん車(児童発達支援・放課後等デイサービス) (未定)

医療法人社団 たはらクリニック (未定)

おもちゃ学芸員の皆様、おもちゃコンサルタントの皆様（山

口県、広島県、福岡県）、一般来場者の皆様

オンライン参加者 東京おもちゃ美術館（遠藤、雨宮、吉原）

日本財団（中嶋）

<https://us02web.zoom.us/j/83895270601?pwd=K2d5YnFkcEVXTzdhaDgrM1UyVW9Qdz09>

ZOOM ミーティングID: 838 9527 0601

のURL [パスコード: 226621](#)

当日連絡 東京おもちゃ美術館 03-5367-9601

先 石井携帯 090-9846-1679

※当日は、「木育フェスタ」というイベントを開催しています。イベントの入場者入替時間に贈呈式を行います。

時間	プログラム	備考
11:10	メディア受付開始、玄関ロビーで待機（石井）	おもちゃのセット、配布物、タペストリー
11:10	ZOOM接続テスト、TTM、日本財団、接続	PC、プロジェクター、スクリーン、マイク
11:20	「メディア向け概要説明」：石井、中嶋（オンライン）	メディア向け配布物：（事前送付済） ・あそびのむしチラシ ・スタートBOOK ・配布先一覧表 ・日本財団ジャーナルを印刷 ・事業概要（パワポ資料）
11:40	「木育フェスタ」第1クール参加者が退館、ロビーにて贈呈式参加者が集合、着席	参列者へ配布物（送付済み）：チラシ、ステッカー、シールなど
11:50	始めのことば（司会：岡田） 参加者紹介（石井） イメージ動画を見る（オンライン遠藤より） 事業概要説明（石井） おもちゃ贈呈（石井→山本館長） 記念写真撮影（BOX開けたところ、おもちゃ手渡しシーン） 山本館長からのお言葉 おもちゃのミニレクチャー（岡田哲也、TC福武さん？） メッセージ（医療法人社団たはらクリニック 田原卓浩 先生） 集合写真撮影	お渡し：認定NPO法人芸術と遊び創造協会 子育て支援部部长 石井今日子 お受取り：長門おもちゃ美術館 館長 山本幸範 様 カメラ担当：スタッフ 村田さん （ご参加いただける場合） カメラ担当：スタッフ村田さん
12:20	贈呈式終了	
12:20	第2クール入場開始	

報道関係各位

世界希少・難治性疾患の日に向けて全国の難病児へ おもちゃセット「あそびのむし」の配布企画

第三弾：長門おもちゃ美術館（山口県長門市）にて贈呈式

東京おもちゃ美術館は、日本財団と共同で開発した難病の子どもと家族と一緒に遊べるおもちゃセット「あそびのむし」を、2月末日世界希少・難治性疾患の日に向けて全国約100か所の施設と病院に配布します。山口県長門市の長門おもちゃ美術館にもおもちゃセットが配布されることとなり、今後、山口県内の難病の子どもたちが美術館を訪れる際、活用される期待が高まります。おもちゃセットの贈呈式の様子をメディアのみなさまに公開いたします。



・37℃以上の方はご入館いただけませんので予めご了承下さい。
・密を避けるため、テレビは各社2名、その他は各社1名までとさせていただきます。
ご協力の程よろしくお願い致します。

おもちゃセット「あそびのむし」
あそびのむし贈呈式 @長門おもちゃ美術館 メディア公開

日時：2021年2月14日（日）11:20～12:20

（受付 11:10～、メディア向け説明会 11:20～11:40、贈呈式：11:50～12:20）

場所：〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1 センザキッチン内

概要：約50個のおもちゃが4つの美しい木のBOXに詰められた「あそびのむしおもちゃセット」は、難病児や障害児とその家族のために作られました。制作した東京おもちゃ美術館より、贈呈式が行われます。この日は、長門おもちゃ美術館でのイベント「木育フェスタ」が行われており、入場制限のため入替制入場となりますが、長門おもちゃ美術館のおもちゃ学芸員（市民ボランティア）にもおもちゃの紹介がされます。「あそびのむし」の概要について、東京おもちゃ美術館職員へのインタビューなども当日行っていただけます。ご取材いただける場合は、2月12日（金）17時までに、下記へお電話でお申し込みください。

＜お問い合わせ先＞ 〒160-0004 新宿区四谷 4-20 東京おもちゃ美術館
担当(東京)：石井 今日子 TEL 090-9846-1679

TEL 03-5367-9601

k.ishii@art-play.or.jp

～これまでの経緯～

- 2019年 6月 日本財団と東京おもちゃ美術館で難病児向けのおもちゃセット「あそびのむし」の共同開発を開始。
 - 2020年 1月 おもちゃセット「あそびのむし」が完成
 - 2020年 10月 完成後、初となる全国への「あそびのむし」配布企画がスタート。
第一弾：難病児のお母さん方が、「あそびのむし」に入れる手作り布おもちゃ約100個を制作。
 - 2020年 11月 第二弾：板橋区小茂根福祉園通所者による、手作り布おもちゃを含む約50個のおもちゃの箱詰め作業。
 - 2020年 12月 第三弾：花巻おもちゃ美術館、札幌、岐阜、東京、高松でもXmasに贈呈式が行われました。
 - 2021年 2月 今回：長門おもちゃ美術館にて、世界希少・難治性疾患の日に向けて贈呈式を行います。
- ◇第一弾及び難病児とそのご家族がおもちゃで遊んでいる様子の素材もごさいます。



■ 難病児むけおもちゃセット「あそびのむし」とは？

日本の周産期・新生児医療の発達に伴い、難病であっても救える命が増えてきました。一方で、家族は子どもの誕生に喜びつつも、退院後は家族が難病に対する医療的ケアを日々行う必要があり、片時も目を離すことができず、なかなか子どもとゆっくり遊ぶ時間がありません。おもちゃセット「あそびのむし」は、難病の子どもと家族、専門家と厳選した世界中のおもちゃ約 50 点を詰め込んだセットで、難病の子どもと家族と一緒に遊び、親が子どもの成長を実感できる機会を与えることを目指します。詳細はこちらをご覧ください。

日本財団ジャーナル連載記事「ママに笑顔を。おもちゃが紡ぐ親子の絆」

<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/issue/43273>



「あそびのむし」紹介動画

https://www.youtube.com/watch?v=jY8S9U-O6_E&feature=youtu.be



■ おもちゃセット「あそびのむし」の中身 —おもちゃの例—



ドレミマット

マットの中心を踏むと、空気圧によってハーモニカのような音色が鳴り響く。歩くのが苦手な子どもでも、音色を聴いているだけで陽気な気分。

歩く動物（とことこ動物）

木でできた愛らしい動物を台の上に乗せれば、カタッカタッと音をさせながら坂を下っていく。ゆったりとした動作と心地よい音色に癒される。



アーチレインボー

表面が滑りにくい、フェルトのような感触の積み木。虹色のトンネルをつくったり、シーソーにしてみたりと、子どもの想像力に応じて遊び方は無限大。



日本財団「難病の子どもと家族を支えるプログラム」について

全国25万以上といわれる難病の子どもとその家族が孤立しない地域づくりを目指し、「医療」「福祉」「教育」「フィランソピー」の4領域について、「医療的ケアが必要な小児に対応する訪問看護研修」「ICTを活用した退院・復学支援事業」「外出が困難な子どもと家族向け相談カーによる訪問」等、毎年30以上のモデルとなる事業を全国規模で展開。また、「難病の子どもと家族を支える地域連携ハブ拠点」として、これまで28の拠点開設支援を決定し、2020年までに全国に30拠点を整備する予定です。

紹介動画 https://www.youtube.com/watch?v=_iyvrfGD0TA&feature



東京おもちゃ美術館について 【営業時間】 10時00分～16時00分（定休日：木曜日）

東京おもちゃ美術館は、赤ちゃんからお年寄りまでの多世代にとって、豊かな出会いと楽しみを体感できるミュージアムです。2008年春、東京都中野区から新宿区に移転。NPO法人が運営するミュージアムとして、300名を超えるボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」をはじめ、地域の方など多くの方々と協力し、運営を進めています。11教室を使った豊かな空間には、世界中からやってきた美しいおもちゃ、日本の伝統的なおもちゃ、心を癒す国産の木製玩具が多数あり、実際に手に取り遊ぶことができます。

東京おもちゃ美術館 公式サイト

<http://goodtoy.org/ttm>



長門おもちゃ美術館について 【営業時間】 10時00分～16時00分（定休日：木曜日）

「海の美しさ、森の雄大さを伝えたい」そんな思いから生まれた、海と人と木をつなぐ体験型おもちゃミュージアムです。おもちゃと遊びを通じて、親子で一緒に楽しみ、自然を感じる素敵な時間をお届けします。森と海を融合させた木育船キッズクルーズ舟は、まるで水上おもちゃ美術館です。

長門おもちゃ美術館 公式サイト

<https://www.nagato-toymuseum.com/>

